

# カワサキノコト



## Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

川崎市ホームページ



川崎市 検索

川崎市  
LINE公式アカウント  
市の重要な情報を  
LINEでお届けします



@kawasakicity 検索

川崎市  
シティプロモーションTwitter  
川崎が好きな情報が満載です



@kawasaki\_pr 検索

カワサキノコト 川崎市市勢要覧2022

2022(令和4)年4月発行

発行:川崎市総務企画局シティプロモーション推進室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL044-200-2287 FAX044-200-3915

制作:株式会社タウンニュース社 川崎支社 〒211-0042 川崎市中原区下新城3丁目14番7号 TEL044-741-4111 FAX044-741-4002



## 表紙のアートについて 「KAWASAKI MURAL ART PROJECT」

川崎市役所本庁舎整備工事現場(川崎区)の仮囲いを、5人のアーティスト(DRAGON76氏、COOK氏、Kensuke Takahashi氏、Tokio Aoyama氏、WOOD氏)がミューラルアートで彩りました。全長56mにわたるこの作品は、「江戸を中心としたアート文化」と「若者文化」を融合させたもの。川崎市は、このようなストリートカルチャーをはじめとした若者文化を積極的に発信しています。

※ミューラルアート…施設所有者の許可を得た上でアーティストが壁面にスプレー缶などでカラフルに描く作品

## 04 Opening

## 06 特集 Light UP!!! KAWASAKI

～共鳴する鼓動～

- 06 宮澤 夕貴 富士通レッドウェーブ選手
- 08 スポーツがまちに溶け込み、市民の誇りに「地域との関わり」座談会  
若松 慧 川崎フロンターレ タウンコミュニケーション事業部  
内藤 誠人 川崎ブレイドサンダース 地域振興・アカデミー事業部  
重田 知穂 NECレッドロケッツ 広報
- 10 佐川 昌広 市立平間小学校 校長
- 11 ペレーラ ラヒル サンケータ 第13期川崎市外国人市民代表者会議 委員長
- 12 加藤 梨里香 俳優
- 13 中野 絢斗 かわさき若者会議 発起人

## 14 市長対談 ストリートカルチャーから見えてくる川崎の可能性

川崎市長 俳優  
福田 紀彦 × 松本 利夫 (EXILE)

## 18 NEW KAWASAKI+INNOVATION

世界が近づく川崎 未来を創る川崎

- 18 世界と川崎をつなぐ多摩川スカイブリッジ
- 19 国内初稼働の量子コンピューター

## 20 市の魅力 区民が選ぶ「好きなスポット」「ソウルフード」を電車の路線図とともに紹介 カワサキソウルトレイン

- |        |        |
|--------|--------|
| 21 川崎区 | 25 宮前区 |
| 22 幸区  | 26 多摩区 |
| 23 中原区 | 27 麻生区 |
| 24 高津区 |        |

## 川崎市市勢要覧 2022

- 28 川崎市総合計画
- 34 データで見る 川崎ってどんなまち?
- 38 歴史で見る川崎市
- 40 名誉市民・市民文化大使など
- 41 川崎市議会・市民オンブズマン制度など
- 42 川崎市歌・川崎市民の歌など

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載、複製、使用を禁じます。  
本誌掲載の写真は、撮影のため一時的にマスクを外していただいたものもあります。

# ひとが動き、まちが輝く。 Light Up!!! KAWASAKI

1924年に、人口5万人弱で産声を上げた川崎市。  
市制100周年を2年後に迎える今では、  
政令指定都市として6番目の人口を擁する大都市へと成長しました。

工場群の小さな光の一つ一つのように、一人一人が鼓動し続け、  
それらの鼓動が発する光は互いを照らし合い、共鳴し合います。  
そして共鳴はこれまでも、これからも続き、  
まるで工場群を太陽の光が包み込むように、まちは一層輝きを増します。  
次の100年に向けて、「あたらしい川崎」を生み出していく  
新たなスタートラインに向かう今、「カワサキノコト2022」では  
さまざまな分野で活躍する人々を紹介します。  
ぜひ、鼓動の共鳴を感じてください。

# Light Up!!! KAWASAKI

～ 共鳴する鼓動～

特集



銀メダルを片手にオンラインでの取材に応じる宮澤選手。次に目指すのは、もちろん「金メダル」だ

川崎市を拠点とする富士通レッドウェーブの宮澤夕貴選手が、東京2020オリンピック競技大会で、同チーム所属の町田瑠唯選手、オコエ桃仁花選手とともに、5人制女子日本代表として日本バスケットボール史上初の銀メダル獲得に貢献したのは記憶に新しいところ。活躍を支えている原動力、その先の目標などについて話してもらいました。

東京2020大会を振り返って、最初に出たのは感謝の言葉でした。「コロナ禍の中で試合をやってもいいの？」という気持ちは、ずっとありました。それでも結果を出せたのは、無観客の開催でも、SNSなどでたくさんの方の応援メッセージの声を頂いたことが大きかったと思います。川崎市民の方からの声も大きな支えになりました」

普段は、東京2020大会でも光ったシュート力を武器にレッドウェーブの中心選手として活躍中です。国内屈指の強さを誇る所属チームについて、「1対1で相手を抜くのが上手な選手だけが集まっても強くはなりません。シュートが得意な選手やパスが上手な選手……いろいろな特徴の選手が集まっているのが私たちの強み」と分析。常に、チームの最善のために「仲間の特徴を生かすことが大事」と心掛けてプレーする姿勢が、どんな舞台でも活躍できる要因になっているのでしょう。

また、レッドウェーブでは、地域の皆さん

のためにさまざまな活動をしています。ホームゲームを多く開催する「とどろきアリーナ」や練習場のある中原区内などを回り、商店街に応援ポスターを張ってもらったり活動もその一つ。「以前に所属したチームでは一度もなかった経験でした。まちで『頑張ってる』と声をかけてくださるなど、地元ファンが多いのは、こういう活動も理由の一つだと思います」

さらには、定期的に開催しているバスケットボール教室を通じた、川崎の子供たちとの触れ合いも大きな原動力に。「リーグ戦での気持ちの浮き沈みがあっても、バスケットを始め

た時の楽しさを思い出して、また頑張ろうと思えるようになるんです。逆に、調子が良いときは、『初心を忘れないように』と思わせてくれます。どれだけ忙しくても、(教室を)やっけて良かったと思うことは、私にとっては、プラスでしかありません」

今や、チームの顔ともいえるべき存在の宮澤選手ですが、2021年に移籍してきたばかりです。川崎のまちは、どんな印象なのでしょう。

「いろいろな競技のスポーツチームがあり、応援のポスターも見かけ、スポーツが盛んなまちだと思っています。スポーツの盛んな地域は活気があるように感じます。試合後に『勇気をもらえた』『自分も頑張る』というような声を頂くこともありますし、スポーツには人の気持ちを前向きにする力や、生き方を豊かにする力もあるのではないのでしょうか。休日には地元チームの試合に足を運べば、そこには人との関わりが生まれます。さらに選手が活躍することで、『あんなふうになりたい』と夢を持つ子どもも増えるように思います」

宮澤選手には、試合でのさらなる活躍やタイトル獲得など、さまざまな目標がある中、こんなことも夢の一つだそうです。

「近い将来、『レッドウェーブの試合を見たいから川崎市に行きたい、住みたい』と言ってもらえるような魅力ある存在になれば夢のようです」

## 宮澤 夕貴

富士通レッドウェーブ 選手

” 気持ちを前向きに、  
生き方を豊かに、  
それがスポーツの力 “

それがスポーツの力 “



### Profile

みやざわ・ゆき：神奈川県立金沢総合高校卒業後、EN EOSサンフラワーズに入団。2021年に富士通レッドウェーブに移籍した。東京2020大会で挙げた得点は、チームで2番目となる計69得点。町田選手、オコエ選手とともに、川崎市スポーツ特別賞を受賞した



# 「スポーツが まちに溶け込み、 市民の誇りに」 「地域との関わり」座談会

## 若松 慧

川崎フロンターレ  
タウンコミュニケーション事業部

わかまつ・けい: 主に地域イベントの企画立案、  
地域のホームタウン活動などを手掛ける

## 内藤 誠人

川崎ブレイブサンダース  
地域振興・アカデミー事業部

ないとう・まさと: アカデミー事業も積極的に展開し、  
バスケット教室などへの参加人数を伸ばしている

## 重田 知穂

NECレッドロケッツ  
広報

しげた・ちほ: 2021年に広報に着任。地域との窓口となり、活動に取り組んでいる

川崎フロンターレ(以下、川崎F)サッカー、川崎ブレイブサンダース(以下、川崎B)バスケットボール、NECレッドロケッツ(以下、NEC)バレーボール)は、いずれも川崎市を本拠地とし、地域貢献活動に積極的に取り組んでいるスポーツチームです。各チームから3氏がオンラインで集い、座談会を行いました。地域に密着することの意義とは? スポーツが持つ特別な力とは?

**重田(NEC)** フロンターレさんもブレイブサンダースさんも川崎市の顔ともいえる存在ですので、レッドロケッツも参加できてうれしいです。

**内藤(川崎B)** こういう企画が成立するのは、フロンターレさんがこれまで築いてきた結果があるからこそですよ。市内全小学校にオリジナル教材の「フロンターレ算数ドリ

ル」を配布したり、「どうやって思いつくんだろう?」と思わせるような企画力・突破力、「やりすぎ」と思えるほど突っ込んでいくフロンティアスピリットは、常に尊敬しています。最近では、「みやまえご近助体操」の企画に驚かされました。高齢者も親しめる体操という、世代を問わない動画コンテンツを提供するアイデアがすごいです。

**若松(川崎F)** そんな、滅相もないです。「みやまえご近助体操」は、サッカーに関心のない方も広く交流するきっかけになれば、と宮前区で始めました。「クラブをまちに溶け込ませるにはスポーツ以外でも、いろんな融合があるんじゃないか」と常にアンテナを張り続けています。僕も、2チームには刺激をもらっていて、レッドロケッツさんは、チームを応援するために商店街などに掲げられるタペストリーの数がここ数年ですごく増えま

したよね。  
**重田(NEC)** 一つ一つ商店街に連絡して取り付けさせてもらいました。快く場所をご提供いただけるのでありがたいです。もつと地域に溶け込んでいかなきゃと考え、選手・スタッフ一同が、商店街の清掃活動をさせてもらったりもしています。そうやって、地域に必要とされる存在になってこそ、選手も地域の皆さんもお互いを身近に感じて応援していただけるようになり、選手も力をもらえるんだと思います。

### 育成・普及活動の狙い

**若松(川崎F)** 実は、川崎の皆さんに愛されるという意味で、すごくうれしいことがあります。うちのアカデミーからは、今は海外で活躍している市内出身の選手が何人か出ていますが、彼らの応援タペストリーが今でも、

まちの中に掲げられているのを目にしたんです。アカデミーでは、そうやって地元で応援してもらえる選手になるような教育もしています。子どもたちが夢の舞台を目指し、地元の人がそれを応援するような輪が広がるのもスポーツならではの良さですね。

**内藤(川崎B)** スポーツ教室やアカデミー活動は競技の普及が基本ですが、おっしゃるように、もっと大きな意義がありますよね。

**重田(NEC)** 私たちの場合、バレーボールは競技自体が生涯スポーツという特徴がありますので、小学校のふれあいスポーツ教室で選手が子どもたちと交流したり、ママさんバレーの教室を開き、コーチと一緒にバレーボールをしたりと、幅広い世代との関わりを持ちたいと考えています。



川崎フロンターレ:「フロンターレ算数ドリル」を使った授業



川崎ブレイブサンダース:試合やハーフタイムの時間は市民の活躍の場に



NECレッドロケッツ:選手、スタッフが参加した地域清掃

**内藤(川崎B)** アカデミーなどの活動には、地域課題の解決という側面もあると思います。子どもたちに運動するきっかけを提供し、運動習慣を身に付けてもらうことで体力が向上したり、将来的には健康寿命が延びたりすることに繋がりますから。

### スポーツが持つ力

**若松(川崎F)** 「将来」という視点でいえば、以前からクラブのボランティアとして活動していた高校生が県外の大学に進学し、成人式で帰省したとき、わざわざ成人式前日にフロンターレのイベントのボランティアに参加してくれたことがあります。「久々に帰ったから(サポーターの)みんなと会いたい」とサポーター同士がつながり、居心地のいい場

所になる。スポーツには、目の前の試合で喜んでもらうだけではなく、故郷のような存在にもなれる力があるんだと実感しました。

**重田(NEC)** うらやましい話ですね。内藤さんがスポーツの力を感じた話も聞きたいです。

**内藤(川崎B)** SDGsが理念の「&ON E(アンド・ワン)」というプロジェクトの中で、家庭から出た使用済み食用油を回収して、環境負荷の低いバイオ燃料の原料にするプロジェクトをやったことがあって。わざわざペットボトルに詰めて試合会場に持ってくるのは手間になることなのに、ファンの方は、たくさん持ってきてくださったんです。スポーツチームが旗振り役になることで「ついでに」くらいの感覚で、楽しみながら社会貢献

献活動に参加してもらえるのも、スポーツの力ですよ。重田さんの場合はどうですか?  
**重田(NEC)** 私は、コロナ禍の中で、特に強く感じました。(スポーツイベントの収容率などの制限が解除)試合が再開され、待ちわびていたファンの方が楽しそうに観戦し、声を出せない中でもハリセンを叩いて盛り上げてくれる姿を見たとき、スポーツが地域に求められているんだと実感しました。

**川崎市民と歩む将来像**  
**内藤(川崎B)** そうやって、地域の皆さんに求められることって大切ですよ。「&ON E」では、障害のある方にホームゲーム運営を職業訓練の場として活用してもらったり、試合のショータイムで一芸に秀でた市民を招いてダンスや一輪車などのパフォーマンスを披露してもらったり、子どもたちが安心して過ごして気軽にバスケットボールに触れられる「ザ・ライトハウス」という施設を武蔵小杉駅近くにオープンしたりもしました。今後も、地域からうまく活用してもらえるような関係性を築き続けたいです。

**若松(川崎F)** 私たちも、スポーツやチーム・クラブが溶け込んだ地域の日常を、川崎の皆さんが誇りに思ってもらえるような活動を継続していきたいです。

**重田(NEC)** よく、川崎市はスポーツチームが多いとうらやましがられます。みんな刺激し合って、チームも川崎のまちも盛り上げていきたいですね。



左上から時計回りに若松さん、内藤さん、重田さん



SDGs教育の一環として、「平間SDGsフェス」で行われた、太陽光で目玉焼きを作る講座の様子

地域を巻き込んだ啓発活動が評価され、市立平間小学校(中原区)は、2020年に政府の「第4回ジャパンSDGsアワード」SDGsパートナーシップ賞を受賞しました。同校の佐川昌広校長こそ、SDGsを前面に打ち出す学校運営の仕掛け人です。 ※SDGsについては28ページ参照

「今日はSDGs17番のクイズです」。同校では、放送委員の児童による校内放送で一日が始まります。校長室前には多摩川の生き物を飼育する「SDGs水族館」があり、

渡り廊下には17の目標と169のターゲットが掲示され、校内はさながらSDGs資料館のよう。SDGs未来都市に認定されている川崎市の中でも注目を集めています。SDGsに取り組み始めたのは、2018年のことでした。「ローカルな活動がグローバルにつながるグローバルな視点を学ぶのに最適」。こう考えた佐川校長は、「まずは自分の行動から」と、朝礼のスピーチや学校だよりなどで積極的に発信し続けます。地道な発信の成果が表れたのは、コロナ禍

による学校の臨時休業明けでした。臨時休業になる際、「自分でできるSDGsを家族と調べて、校長室の壁に貼ろう」と児童全員へ宿題を出したところ、臨時休業明けには、「給食を残さない」「地域の人のあいさつをする」などと書かれた付箋が壁一面に。「伝え続けると児童もだんだんと変わる」と感じた佐川校長は取り組みを加速。今では全学年でSDGsに関わる授業をしています。中でも、2019年から始まった「平間SDGsフェス」は、校庭に群生する竹を使った竹炭作りや太陽光での目玉焼きの作り方講座など、地元の市民活動団体や地域の大人も一緒に盛り上げる一大イベントに。「子どもの本気に触発された大人が本気で動くことで、思えば地域に広がっていきます」

佐川校長は最近、SDGsの広がりを実感したエピソードに目を細めます。「公園でゴミをポイ捨てしようとした人に、近隣住民の方が『ポイ捨てしちゃだめ。SDGsを知ってる?』とSDGsを持ち出して注意したそうです。他にも、児童同士で『それはSDGsの17番に反するんじゃない?』なんて言い合うこともあるんですよ」

こうして、SDGsの取り組みを通して育まれていく、まちへの愛着を佐川校長は「平間プライド」と表現。「平間プライド」が今度は「川崎プライド」になるように、子どもたちには、大人になっても、どこにいても、地域を良くしたいという気持ちを持ち続けてほしいですね」



子どもの本気が大人を動かす

Profile さがわ・まさひろ：大学卒業後に九州から北海道まで徒歩での縦断旅をする中で出会った人に触発され教職に。企業への派遣研修などを通して、環境問題や自然エネルギー問題に関心を高める。2018年度から市立平間小学校の校長(2022年3月末時点)

## 佐川 昌広

市立平間小学校 校長

川崎市外国人市民代表者会議は、市内在住の外国籍の市民が地域課題について話し合い、市長に提言を行っています。「要求から参加へ」をモットーに掲げるのは、委員長のペレララヒル・サンケーターさんです。

2021年12月末日時点で市内には、139の国や地域にルーツを持つ4万3854人が生活しています。こうした市民の声を市政に生かすべく、同会議は1996年に設立。公募で選ばれた委員が、防災や医療、教育といった、地域で生活する中で感じている問題について議論を重ね、その結果を年次報告書にまとめ、市長に提言しています。

第13期(任期2020～2021年度)の委員は、19の国や地域出身の26人。「国や文化が異なる人が集まって話すと、それまで見えていなかったいろいろな視点に気付きます。委員長としていろんな声を引き出した」と意気込むペレララさんにとって、会議のキーワードである「要求から参加へ」とは、



川崎市のブランドメッセージのロゴマークに思い思いの色を塗り、多様性を表現する委員の皆さん。前列左から3番目がペレララさん

## ペレラ ラヒル サンケーター

第13期川崎市外国人市民代表者会議 委員長

「行政などに『やって、やって』と言うだけではなく、可能な限りできる範囲は自分たちでやることで、うまくいったケースが何度もありました。『要求』も『参加』も仕事でよく使う日本語ですが、これだけ意味が違うのかと、この会議での活動を通して実感しました」

例えば、「行政手続きで使う資料の多言語化で、メンバーが翻訳できるものは自分たちでやって、それを市に活用してもらった」経験などは、その典型だそうです。「そんなふうには、『参加』の部分も提案することが大事だと思っています」

ペレララさんが同会議の活動に熱心に取り組み始めたのは、川崎市に愛着と大きな可能性を感じているからにほかなりません。「川崎市と、それまでに日本で住んできた所の違いは、人の温かさでした。川崎では外国人であっても、地域の人が積極的に『おはよう』と声を掛けてくれるんです」



Profile ペレラ・らひる・さんけーた：スリランカ出身。2004年の来日後、日本在住。2017年の結婚を機に、妻の実家のある川崎市に移住する。都内のIT企業に勤務する1児の父

要求から参加へ  
好きなまちを、  
もっと住みやすいまちに

# 100年後も 都会の中の田舎でいて



### Profile

かとう・りりか：2歳で芸能界に入り、4歳で初舞台を経験。2016年、『花より男子 The Musical』のヒロイン役に応募総数3,000人の中から選ばれた。梨農家で育ち、写真共有アプリ「Instagram」 (@ririka\_kato) では、「川崎の農」の魅力なども発信している

高津区出身の加藤梨里香さんは、圧倒的な存在感、抜群の演技力で大きな注目を集めている舞台俳優です。ミュージカルを中心に、名だたる作品で華やかなスポットライトを浴びる活躍の背景には、地元への深い感謝の気持ちと愛情があるようです。

2021年、憧れだったミュージカルの金字塔「レ・ミゼラブル」のヒロイン・コゼット役を演じました。3度目のオーディションでついに射止めた大役。胸に込み上げたのは、「家族や地元の友達、先生、ご近所さんが応援してくれておかげ」という感謝の気持ちでした。

それほど、地元への愛情は深いようです。曾祖母と祖母の勧めでデビューしたのは2歳の時。「梨里香ちゃん、今年のお祭りも期待しているよ」と町内会の人に背中を押され、神社の境内に設置された舞台で大好きな歌やダンスを披露していた幼少時代を、「あそこで度胸を鍛えられたのかな。当時、応援してくださいの方の中には、今も公演に足を運んで応援してくださいる方もいます」と、懐かしそうに振り返ります。

小学生になってからは、撮影や舞台で授業を抜けることもしばしば。仕事場で会う同世代の子役の中には、「普通」とは異なる生活スタイルが周囲に快く思われないことに悩む人もいた中、芸能活動をする上で今でも大きなエネルギーになっている言葉を友達から掛けられました。「小学校の芸術鑑賞会で劇団



大好きな梨を、地方公演中に実家から送ってもらったことも

## 加藤 梨里香 俳優

四季の公演を見たとき、友達が「これが梨里香ちゃんの仕事なんだね」と言っただけ、私のごとを受け止めてくれました。私の地元には（何かを目指している人を）みんな応援する、という雰囲気があって、とてもありがたいです。川崎の方は、みんな温かいですよ。公演や稽古で全国を飛び回るようになった今、大舞台に立つ重圧を和らげてくれるのも「地元」の存在です。「都会の便利さの中にある、自然の豊かさが大好きです。実家で栽培している梨は甘みが強く、地元の養鶏場の卵は黄身の新鮮さが全然違います。取れたてのおいしいものがすぐ手に入る環境はとて素晴らしいので、体にいいのはもちろん、心の栄養にもなっています」

2021年には、文化・芸術分野で今後の活躍が特に期待される個人や団体に贈られる、川崎市のアゼリア輝賞を受賞し、地元への思いは深まるばかり。「育ててくれたまぢがあるから、きっと今の私がいいます。100年後も、みんなが温かくて、都会の中にも田舎がある——。そんな川崎がずっと続いていてほしいです」

2021年4月、中野絢斗さんらが発起人になり、地域と若者をつなぐ組織として「かわさき若者会議」が発足しました。自治体や商店街の依頼で企画する若者らしいイベントの斬新さが好評で、地域交流の輪を広げる役割を果たしています。

「うちの村ではスイカが取れるぞ。お前の故郷はどんなところだ？」

中野さんが、大学時代にバックパッカーとしてユーラシア大陸を横断中に会った人々から感じたのは、「プチ自慢」に込められた地元愛でした。「いざ自分のことを見つめると、地元のことは何も知らず、恥ずかしかったです」

この経験から、帰国後に地元をよく知ろうと、「何でもいいから、地元で何かに取り組んでいる団体はないだろうか」と探し始めます。「高津区で緑の保全に励むグループを見つけた。メンバーは年の離れたシニアの方ばかりでしたが、歓迎され、ミカンが自生していることやホタルが生息することなど、目からうろこ。高津区の情報を教わりました。逆にSNSの使い方を教えると喜ばれ、多世代交流の楽しさも知りました」

この経験を機に、「きっと、僕のように地元を知らないまま住んでいる若者は多い」「地元が居場所がない」、そんな思いを持った若者を巻き込んで、多世代が交わるようにしたい。「川崎在住なのに都内でいろいろと活動している若者を知ってるけど、それ、川崎でもっと面白くできるのに」といった思いが後押しし、川崎に縁ある若者約10人で、同

## 中野 絢斗

かわさき若者会議 発起人



若者会議の存在が  
不要になる未来が理想です

会議は発足しました。

同会議では、自由な発想で地域に参画するプロジェクトをこれまでに100以上実施しています。特に印象深かったものの一つは、高津区役所から、「区の魅力を発信する企画を実施したい」と相談されたことでした。

「最初のアイデアはセミナーでした。でも、メンバーには高校生もいて、『そんな、ありきたりじゃつまらない』と、高津区の魅力に関する問題を解くことで密室から脱出するゲーム型のイベントをすることになったんです。会議に、いろんな立場の人、いろんな考

えの人がいるからこそ実現できたアイデアでしたね」

現在のメンバーは約1000人。コーヒー職人や声優、留学生など多様で、自宅や学校、勤務先以外の第三の居場所として関わるメンバーも多く、さらに企画を通して連携した団体がメンバーをアルバイトとして受け入れるなど、深い結びつきも育まれています。

最後に、理想の地域像を聞くと、こんな答えが返ってきました。「若者会議のようなコミュニティがなくても、多世代が自然と交わり活動できる地域ですね」



問題を解くことで密室から脱出するゲーム型イベントは大成功に終わった

### Profile

なかの・けん：高津区出身。地域と若者をつなぐ組織「かわさき若者会議」の発起人のひとり。楽しみながら地域の多世代とつながる企画を多数実施している。同会議のルールは「25歳まで」くらいで、できるだけルールをなくすことがルール(中野さん)

市長対談

川崎市長

福田紀彦



俳優

松本利夫

(EXILE)



ストリートカルチャーから見える

# 川崎の可能性

高津区出身の俳優でEXILE創設メンバーでもある松本利夫さんは、川崎市内のさまざまな場所を巡り、多彩な魅力を発信する動画企画「川崎利夫」を立ち上げ、その中で、「川崎愛」にあふれた内容を次々と発信しています。2021年12月に第10期川崎市市民文化大使に就任した松本さんと福田紀彦川崎市長が、川崎の魅力や可能性について語り合いました。

## 「川崎愛」から生まれた「川崎利夫」

**福田** お会いするのは、2カ月前の市民文化大使の就任記者会見以来ですね。

**松本** 記者会見後は、たくさんの友達からお祝いの連絡が来ました。EXILEが(2003年に)NHK紅白歌合戦に初出場したときくらい反響が大きくて(笑)。「川崎利夫」の動画企画を配信し始めてから、まさか1年で市民文化大使になれるとは思いませんでした。

**福田** 松本利夫ではなく「川崎利夫」。この4文字に松本さんの「川崎愛」が凝縮されているなど。どんなきっかけで「川崎利夫」の動画企画を始められたんですか。

**松本** 海外に行って、生まれ育った地元文化について聞かれたとき、うまく答えられない自分にもどかしさを感じていました。そんな思いを持ちながら、年齢を重ねた母に会うために川崎に帰るたびに、「いまちだな」って言葉にならない安心感が湧くんです。ちょうど、所属事務所動画配信サービスがスタートしたこともあり、「もっと川崎を知りたい。川崎を自分で体感して、楽しんで、それを発信したい」と、始めることにしました。

**福田** 動画企画の最初の頃、市役所に来られて、「川崎観光大使になりたいです」って、おっしゃっていましたよね。

**松本** はい。直談判させていただきました(笑)。最初は怒られるかと思っていましたが、そのときに、「観光大使はないが、川

崎市市民文化大使はある」と教えていただき、「市民文化大使になりたい」と決意を改めて、その後の「川崎利夫」の動画企画を展開しました。活動を評価してくださって、市民文化大使にも任命して下さってうれしいです。

**福田** 動画では川崎の魅力ユニークに伝えてくださり本当にありがとうございます。改めて川崎を周らせていかがですか。

**松本** 2021年だけでも、川崎大師に川崎競馬場、川崎競輪場、藤子・F・不二雄ミュージアム、よみうりランドなどに行きましたが、本当にいいところがたくさんあるなど。中でも岡本太郎美術館はすごかった！常設展示室の入り口にある真っ赤に塗られた壁の、巨大な「TARO」の文字が目に見え込んで、まず圧倒されました。

**福田** 松本さんもそうでしたか。岡本太郎美術館に影響を受けるアーティストの方って実にも多いらしくて。

**松本** ものすごいエネルギーと圧倒的なアートで、椅子の一つ一つからも「命」を感じましたし、(作品を通して)メッセージがガンガン体に入ってきたんです。その年で一番の衝撃的な体験でした。

**福田** そうやって松本さんが表現力豊かに伝えてくださる姿を見ると、川崎に対する思いに感激しちゃって。僕も見習って、「川崎紀彦」にしないと(笑)。

ミューラルアートを盛り上げるのって「すごいチャレンジ」

**松本** (窓の外を見ながら) このホテル縁



道から見えるミューラルアート(※1)、素晴らしいですね。

**福田** 私も、とても気に入っています。市役所本庁舎整備工事の仮囲いに描かれたものですが、2024年に工事が終わったらもったいないですが取り外す予定です。アーティストの人たちは、「壊されるまでの有限なところがいい」と言っていて、そういう見方もあるのかと感心しました。  
**松本** スプレー缶などで壁にカラフルに描くのは、施設所有者などの許可がないとだめじゃないですか。それを、川崎市は許可を出していることが、すごいチャレンジです。びっくりしました。絵自体はもちろん、市がストリートカルチャーを大事にしていることにも感動しました。こうした取り組みをする、川崎市の先頭に立っている福田市長自身はストリートカルチャーになじみがあったんですか。

**福田** 全然なかったですよ。2015年に川崎市に拠点を置くダンスチームがブレイキン(※2)の世界大会で優勝したとの話を聞いたのが始まりで、いろんな人に聞くのと、ストリートダンスやダブルダッチ(※3)、スケートボードといったストリートカルチャーを盛り上げていった。伝説の人たちが川崎にたくさんいるんですよ。市では、15年以上前から「音楽のまち・かわさき」として、駅前の路上ライブなどの表現活動を一定のルールを設けて受け入れる素地があったので市内の若者文化の点と点をつなげて面にして、まち全体をストリートカルチャーが盛んなエリアにしていきたい

**松本利夫**  
まつもと としお  
1975年生まれ。川崎市立子母口小学校、川崎市立東橋中学校、神奈川県立麻生高等学校卒業。16歳からダンスを始め、2001年からEXILEのメンバーとして活躍。俳優としても舞台や映画、テレビドラマなどで幅広く活躍している。社会的活動にも熱心に取り組み、東京2020オリンピックでは聖火ランナーを務めた。



川崎市長  
**福田紀彦**  
ふくだ のりひこ

1972年生まれ。川崎市立長沢小学校、川崎市立長沢中学校卒業後、渡米。米国アトランタマックINTOSHハイスクール卒業。米国ファーマン大学政治学専攻卒業。神奈川県議会議員、神奈川県知事秘書、早稲田大学マニフェスト研究所研究員などを経て、2013年川崎市長に就任する。2021年10月に再選を果たし、3期目。宮前区在住。

川崎は「文化のつぼ」

**福田** つながりといえば、川崎は、すごく多文化なまちで、音楽やダンス、アートといった表現活動を受け止める力ってすごいじゃないですか。例えば誰かが新しいリズムで踊りだしたら、周りも拒否するのではなく、「どうぞ、どうぞ」と受け入れて、同じリズムで踊りだすイメージでしょうか。だから、川崎は「文化のつぼ」のようなところがあると思うんです。若者のストリートカルチャーというものが、そういう川崎の人とまちの姿を象徴しているように見えるんです。そうやって文化が熟成してきて、川崎に若者が集まるようになってきています。  
**松本** 「川崎にストリートカルチャーあり」というのは、広まっていると思いますよ。川崎市がストリートカルチャーを持ち上げていっている感じは、(市の)外からもちゃんと見えていると思います。例えば、渋谷とか原宿のカルチャーというのは、小さいまちながらも世界への発信力があって、それまでは渋谷・原宿のデザイナーたちが海

いと思ったんです。  
**松本** 僕がダンスを始めた25年前くらいは、宮前区役所のガラス張りのエントランスホールの前で振り付けの練習をしていました。スタジオを借りるお金もなかったの、ラジカセを持って行って、音量や人通りを気にしながら、まじめに探究心を持って。ダンスが今ほど一般化していなかったので、ただ遊んでいるようにしか見えなかったかもしれないですが、親は「好きなことがあるんだったら頑張れ」と、広い心で受け止めてくれました。その点、今の川崎は、まち全体がストリートカルチャーを受け入れて、積極的に発信もしているので、今の子どもたちがうらやましいです。  
**福田** 宮前区役所の同じ場所では、今も踊っている若者たちがいます。ダンスをしている人たちがやんちゃなのかなと思っっていました。兄弟のように年上が年下の子に教える関係性は、すごくいいなと感じます。  
**松本** そうですね。僕は市内のいろんな場所を踊っているうちに、どんどん知り合いが増えていきました。ただダンスが好きだった少年が、そうした出会いを重ね、つながりがたくさん生まれた結果、EXILEにつながりました。

※1：施設所有者の許可を得てアーティストが描く壁画アート、※2：楽曲に合わせてヘッドステップなど、アクロバティックに踊るダンススタイル、※3：2人が2本のロープを回す中を跳び手がいろいろな技を交えて跳ぶスポーツ。



「多様性を認めるまちだからこそ、カルチャーを伝え続けていくまちに」  
「もっと川崎を知りたい。体感して、楽しんで、それを発信したい」

川崎愛に満ちた動画企画「川崎利夫」



1回目の動画配信では川崎大師を訪問



市の名産品をレビューした回では、「実家で食べてた」と懐かしむ場面も



市民文化大使就任会見の様子が動画配信されている

松本さんが川崎の魅力を紹介する動画企画「川崎利夫」の動画コンテンツは50本以上。動画配信サイト「YouTube」で配信されています

撮影協力  
ホテル縁道・縁道食堂



江戸時代、東海道五十三次の二番目の宿場町である川崎宿から稲毛神社に向かう参道だった場所にあるホテル。「地域の暮らしと旅人を結ぶ、暮らしの参道」がコンセプト

## 世界と川崎をつなぐ多摩川スカイブリッジ

川崎から羽田空港がある対岸まで徒歩8分——。川崎区にある殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」と羽田空港の「HANEDA GLOBAL WINGS」(東京都大田区)をつなぐ新たな橋「多摩川スカイブリッジ」が2022年3月、開通しました。長さは約675mで車、自転車、徒歩で通行できます。羽田空港と、多摩川両岸エリアが一体的に整備されることで、世界中からのアクセス利便性が向上。日本の国際競争力を高め、この拠点から研究開発・新産業を推進し、グローバルビジネスを創出することが期待されています。



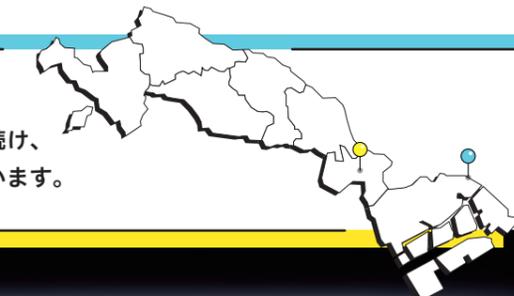
橋には歩行者が楽しめるように、約30mの間隔で周辺の生き物等を紹介するサインプレートを設置

### キングスカイフロント



「キングスカイフロント」は、「Kawasaki Innovation Gateway」の頭文字と「殿町」に由来した「King」と、多摩川対岸の羽田空港から世界につながる拠点であるスカイフロント (SkyFront) から名付けられました。

※オープンイノベーション…異分野が持つ技術やアイデアなどを持ち寄り、組み合わせられることにより創出される、革新的な発明や発見



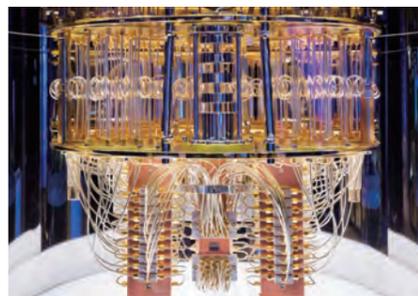
2024年に誕生から100年を迎える川崎市は今、先端産業都市として成長し続け、イノベーション拠点としても注目されています。

世界が近づく川崎 >>>

## KAWASAKI+INNOVATION

>>> 未来を創る川崎

## 国内初稼働の量子コンピューター



IBM Quantum System Oneの内部は量子状態維持のため絶対零度に近い極低温で冷却されている

**国**内初となるゲート型商用量子コンピューターが2021年7月、「新川崎・創造のもり」(幸区)で稼働しました。今まで解けなかった問題の解決につながるといわれる量子コンピューターは、将来の産業競争力を左右するだけでなく、気候変動やパンデミックなど、地球規模の課題解決に向けても、大きな期待と注目を集めています。設置されたのは、IBMが開発し、東京大学が使用权を占有する量子ゲート式の汎用タイプ。世界中で競争が激化する中、アジアでは初めての設置となり、「Kawasaki」(IBM Quantum System Oneの呼称)と名付けられました。

### 新川崎・創造のもり

首都圏最大級のイノベーション拠点。ものづくりのまちとして発展してきた川崎市は近年、知識集約型・高付加価値型へと産業構造の転換が進み、さらなる新産業の創出を目指そうと、産官学連携による先端技術の集積拠点として整備されました。8,000㎡を超える研究スペースでは、50を超える企業などが「川崎発」のイノベーションの創出に向けてさまざまな研究開発を行っています。





2022年4月で**50周年!**  
**川崎区**  
 KAWASAKI WARD

- 区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3**
- 1 川崎大師
  - 2 工場夜景 (川崎マリエン・東扇島東公園)
  - 3 ラッチタデッラ

**川崎駅(JR)**  
 1日平均乗車人員は215,234人。隣接する京急川崎駅との乗り換えなど、朝夕には通勤・通学する人がひっきりなしに往来し、活気に満ちています。



**1 川崎大師**  
 真言宗智山派の大本山。正式名は「金剛山金乗院平間寺」。初詣には毎年多くの参拝者が訪れます。隣接する大師公園には日本最大級の中国庭園「潘秀園」があり、山水の世界も味わえます。  
 川崎区大師町 4-48 TEL 044-266-3420

○区民の声  
 七五三や成人式などの節目は、いつも「お大師さま」でした

**2 川崎駅からバス 工場夜景 (川崎マリエン・東扇島東公園)**  
 日本夜景遺産に選ばれている川崎マリエンからの夜景。地上51mの展望室からは川崎臨海部の夜景が一望できます。東扇島東公園の潮風デッキから見渡すコンビナートの夜景も圧巻です。



川崎マリエン 川崎区東扇島 38-1 TEL 044-287-6000  
 東扇島東公園 川崎区東扇島 58-1 TEL 044-287-6034

○区民の声  
 他では食べられない、まさに川崎のソウルフード!

**区民が選ぶ わがまちソウルフード**  
**川崎新町駅 タンタンメン**  
 ひき肉とニンニクを絡ませたかき卵が豚ガラ塩ベースのスープを覆い、仕上げの唐辛子のパンチが利いたクセになる一杯。辛さはお好みで選べます。

元祖ニュータンタンメン本舗 京町店  
 川崎区京町 1-18-7 TEL 044-366-2180



みんなが選んだ「好きなスポット」は? 「ソウルフード」は?  
**カワサキソウルトレイン**

いろんなカワサキが見えてくる

川崎市は7つの区で構成されており、各区の「ジマン事」がさまざまな魅力の一つです。2022年は、各区で区制50周年や40周年を迎えるアニバーサリーイヤー!そこで各区民にアンケートを実施し、「区民が選ぶ好きな地元スポット」「わがまちソウルフード」など各区の魅力を大調査。さらに区内在住の外国籍の方がおすすめする「MY FAVORITE SPOT(マイ・フェイバリット・スポット)」も注目です。各区内を走る電車の路線図と併せて紹介します。「地元愛」ともいべき「ソウル(魂)」の数々をつなぐ電車——。「カワサキソウルトレイン」の発車です。

**多摩区のジマン事**  
**新たなスポーツ拠点「フロントاون生田」**  
 川崎フロンターレが運営するサッカー場を備えた新拠点が2023年、生田浄水場用地に完成予定です。  
 新施設のイメージ図

**みんなで踊ろう! 「ダンス!ダンス!たかつ」**  
 区主催のオールジャンルのダンスの祭典。区内のダンスユニットがジャンルや世代を超えてつながります。  
 2020年は総勢21組が熱演

紹介している声は、アンケートで寄せられた中の一部です。各区のページで、写真付きで紹介している駅の乗車人員のデータは「令和2年版川崎市統計書」から。

**居心地よいまちを目指しユニークな「社会実験」**  
 武蔵小杉駅周辺では、道路を歩きやすい空間にする社会実験など、まちの魅力化に取り組んでいます。  
 歩行者天国「あそぶエリア」の様子

**麻生区のジマン事**  
**関東最大級! 「しんゆりフェスティバル・マルシェ」**  
 小田急・新百合ヶ丘駅で地元コンソーシアムが開催する関東最大級のまちづくりイベント。農・食・アート魅力を体感できます。  
 駅南口のデッキには約60店舗が出展

**宮前区のジマン事**  
**区民が守り、育てている「平瀬川」**  
 春は桜祭りや稚アユの放流が行われる清流。地域の方が清掃や環境学習等を通し大切にしています。  
 満開の桜と平瀬川

**川崎区のジマン事**  
**「東海道川崎宿」が2023年に起立400年**  
 2023年に向けて地域が主体となり、まちなみづくりや広報などのプロジェクトを進行しています。  
 プロジェクト第1弾の記念ロゴマーク

MY FAVORITE SPOTは川崎市国際交流センターの協力により作成しました  
 国際交流・多文化共生外国人相談はこちら  
 中原区木月祇園町2-2 TEL 044-435-7000

代表作「からすのパンやさん」  
**日本を代表する絵本作家「かこさとし」さん**  
 幸区の子どもたちに紙芝居を創作した経験が作家活動の原点。地元で生まれた名作は区民の宝です。

**MY FAVORITE SPOT**  
**川崎駅 ベトナム料理専門店 サイゴン キムタン 川崎本店**  
 ベトナム出身の店主が現地の材料にこだわって作る料理が人気。硬めのパンにハムやパクチーなどを挟んだベトナム風サンドイッチ「パインミー」は、本場の味が口中に広がります。  
 故郷を思わせる家庭的な雰囲気も、母が作る味に似ている生春巻きも大好きです  
 川崎区東田町 4-7 TEL 044-245-1272  
 チャン・トウイ・ハンさん From.ベトナム 川崎区歴4年

特集 Light Up!! KAWASAKI 対談 川崎市長福田紀彦×松本利夫 KAWASAKI+INNOVATION カワサキソウルトレイン 市勢要覧 2022

21

20



2022年4月で50周年!

# 中原区

NAKAHARA WARD

区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 等々力陸上競技場
- 2 グランツリー武蔵小杉
- 3 中原平和公園

武蔵小杉駅(JR)

1日平均乗車人員は129,194人。周辺には商業施設が立ち並び、週末には等々力陸上競技場へスポーツ観戦に向かうファンやサポーターでにぎわいます。



区民の声  
川崎フロンターレを体感できる全国屈指のサッカーエンターテインメントスポット



1 武蔵小杉駅

## 1 等々力陸上競技場

緑豊かな等々力緑地の中にあり、Jリーグ川崎フロンターレ(サッカー)のホームスタジアムとしても有名。収容人数は27,495人で、市内唯一の陸上競技場として市民に利用されています。

中原区等々力1-1 TEL 044-788-2311(中原区役所道路公園センター)



2 武蔵小杉駅

## 2 グランツリー武蔵小杉

2014年11月にオープンした、約140の専門店からなる複合商業施設です。広さ約1,300坪の屋上公園もあり、子どもから大人まで楽しみながら過ごしています。

中原区新丸子東 3-1135-1 TEL 044-411-7111

区民の声  
大型テナントが入っていて便利! 子ども連れでも買い物しやすい

区民が選ぶ わがまち

### ソウルフード



武蔵小杉駅

## 濃すぎチキンカレーDX

創作カレーに温玉(半熟卵)と焼きチーズ、チェダーチーズソースをトッピングしたリピーター続出の一皿です。

KOSUGI CURRY  
中原区新丸子東 2-897-11  
ラポール新丸子 102  
TEL 044-571-7186

区民の声  
小杉周辺のカレーブームの火付け役!

### MY FAVORITE SPOT



武蔵新城駅

## 新城・八百屋、アジア物産店 青果ショップ

台湾やタイなどアジア各国の調味料や食材が所狭しと並んでいます。故郷の味を求める外国人や「旅先で食べた味が忘れられない」と訪れる日本人客も多いそう。

中原区新城 1-12-12

チョウ・カイトキさん  
From.台湾 中原区歴4年



2022年4月で50周年!

# 幸区

SAIWAII WARD

区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 夢見ヶ崎動物公園
- 2 ラゾーナ川崎プラザ
- 3 東芝未来科学館

新川崎駅(JR)

1日平均乗車人員は30,255人。歩行者専用通路のペDESTリアンデッキからは運行する貨物列車を眺めることができ、鉄道ファンから「鉄道の聖地」と称されています。



区民の声  
無料で入れる動物園! 子どもを遊ばせるには最高!



1 新川崎駅

## 1 夢見ヶ崎動物公園

小高い丘の上にある市営動物公園。レッサーパンダやシマウマ、ペンギンなど約60種の動物を間近で見ることができます。原っぱや遊具があるほか、ペットも入園可能。散歩のついでに立ち寄るなど区民から親しまれています。

幸区南加瀬 1-2-1 TEL 044-588-4030

区民の声  
ここに行けばなんでもそろって大人も子どもも楽しく過ごせます



2 川崎駅

## 2 ラゾーナ川崎プラザ

川崎駅に直結し、「都市の利便性・ファッション性」と「郊外のゆとりある日常」を融合させた、約300店舗からなる大型施設です。昼と夜で異なる表情を見せる「ルーファ広場」では多彩なイベントが開催されています。

幸区堀川町 72-1 TEL 044-874-8000

区民の声  
和菓子屋さんならではの白あんが絶妙で大好き!



区民が選ぶ わがまち

### ソウルフード

## 川崎ポテト

スイーツポテトの中には、濃厚なクリームチーズと素材の引き立て役の「白あん」が。サツマイモの甘みとチーズの酸味を利かせたスイーツです。

新岩城菓子舗  
幸区南幸町 1-1  
TEL 044-522-2721



### MY FAVORITE SPOT



川崎駅

## 地酒や たけくま酒店

「毎日の食事を、おいしいお酒とともに楽しんでもらいたい」をコンセプトに日本酒は常時300種、クラフトビールは常時50種類以上を取りそろえています。

幸区紺屋町 92  
TEL 044-522-0022

ファン・ソン・ウンさん  
From.韓国 幸区歴1年





鷺沼駅(東急)

1日平均乗車人員は31,707人。閑静な住宅街の中には並木道や公園が点在し、四季を感じることができます。

2022年7月で40周年!  
**宮前区**  
MIYAMAE WARD

区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 県立東高根森林公園
- 2 中央卸売市場北部市場
- 3 フロントタウンさぎぬま

1 武蔵溝ノ口駅・溝の口駅からバス  
**県立東高根森林公園**



区民の声  
ゆったり森林浴散歩して芝生で昼寝。無料で楽しめる絶好のスポット

市内唯一の県立公園。春夏秋冬の花々が楽しめ、全長約50mのキンモクセイのトンネルは圧巻。ウォーキングや子どもたちの遊び場、犬の散歩など市民が憩いの場として利用しています。環境を生かした自然観察会などのイベントも開かれています(武蔵溝ノ口駅・溝の口駅の所在地は高津区)。

宮前区神木本町 2-10-1 TEL 044-865-0801

MY FAVORITE SPOT



宮崎台駅  
**電車とバスの博物館**

鉄道模型を持ち込んで走らせることもできるジオラマや、電車やバスの運転シミュレーターで遊べます。車両型シェアオフィスも併設する東急電鉄運営の鉄道保存展示施設です。

宮前区宮崎 2-10-12  
TEL 044-861-6787

電車のない山間部で育ちました。同郷の友達が出来たら必ずここに連れていきます



コスコルエラ・エージョ・オリハレスさん  
From.フィリピン 宮前区歴2年



溝の口駅(東急)

1日平均乗車人員は159,823人。同駅とJR南武線溝ノ口駅の南口エリアにはペDESTリアンデッキがあり、多くの人が行き交います。

2022年4月で50周年!  
**高津区**  
TAKATSU WARD

区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 川崎市制記念多摩川花火大会
- 2 子ども夢パーク
- 3 久地円筒分水

1 二子新地駅  
**川崎市制記念多摩川花火大会**

市制施行を記念して1929年から始まった歴史ある花火大会。多摩川の二子橋付近で催され、約6,000発の花火が夜空を彩ります。スターマインや音楽と花火の競演「ハナビレビュー」などが見どころ。

多摩川河川敷  
高津区瀬田・諏訪2・北見方2付近  
TEL 044-200-2329  
(川崎市経済労働局観光プロモーション推進課)



区民の声  
毎年必ず行っていました。コロナで中止が続いているのが残念です!

2 津田山駅  
**子ども夢パーク**

「川崎市子どもの権利に関する条例」の理念を基にできた、子どもたちの活動拠点。泥だらけになって遊ぶプレーパーク(冒険あそび場)、サイクリングロード、全天候型のスポーツ広場、音楽スタジオなどを備えています。

高津区下作延 5-30-1 TEL 044-811-2001

MY FAVORITE SPOT



武蔵新城駅  
**たちばなふれあいの森**  
(高津区市民健康の森)

市の特別緑地保全地区にも指定されている緑豊かな市民の憩いの森。さまざまな野鳥が観察できるほか、小川にはゲンジボタルも生息しています(武蔵新城駅の所在地は中原区)。

高津区北野川 6  
TEL 044-833-1221  
(高津区役所道路公園センター)

緑が多く空気がきれいで、山や森に囲まれていた自分の故郷を思い出します



ホアン・テーフンさん  
From.ベトナム 高津区歴2年



2 武蔵溝ノ口駅・溝の口駅からバス  
**中央卸売市場北部市場**



「川崎の台所」として水産、青果、花き、関連商品を取り扱っています。一般開放している関連朝市では、新鮮な食材がお得に手に入ると市民に好評。ボリューム満点の「市場メシ」も必見です(武蔵溝ノ口駅・溝の口駅の所在地は高津区)。

宮前区水沢 1-1-1  
TEL 044-975-2211

区民の声  
場内を歩いて、見ているだけでも楽しい市場です

区民の声  
皮も手作り! 焼く前のも持ち帰れます



区民が選ぶ  
**わがまちソウルフード**

宮崎台駅  
**焼き餃子**

約50年続く町中華の名店。キャベツたっぷりのあんから出るうま味が詰まった手作り餃子(ぎょうざ)は、地域に愛され続ける逸品です。

坦坦麵餃子工房 北京川崎宮崎台店  
宮前区宮崎 2-6-11  
TEL 044-854-4288

区民が選ぶ  
**わがまちソウルフード**

武蔵溝ノ口駅・溝の口駅  
**白いカレーうどん**

ジャガイモと生クリームのムースがたっぷりかった、雪のような白さの一杯。牛肉と野菜のうま味を凝縮したカレーとあえるとまろやかな味わい。

路じ本店  
高津区溝口 1-11-7  
TEL 044-811-6644



新百合ヶ丘駅(小田急)

1日平均乗車人員は66,062人。商業施設が隣接しており、駅南口のペDESTリアンデッキでは多彩なイベントが開催されています。

2022年7月で40周年!

# 麻生区

ASA O W A R D



区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 王禅寺ふるさと公園
- 2 ヨネッティー王禅寺
- 3 アートセンター

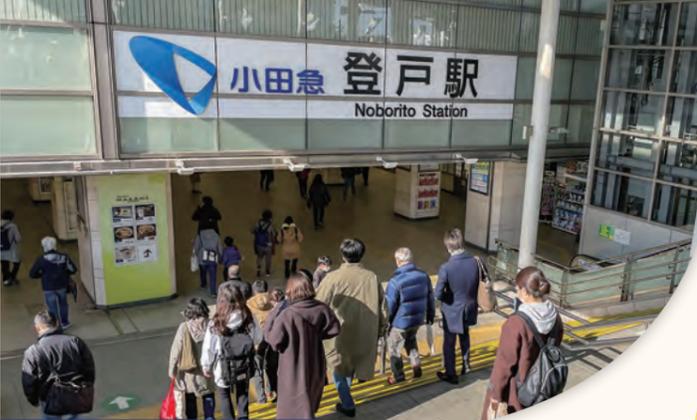


## 1 新百合ヶ丘駅からバス 王禅寺ふるさと公園

市制60周年を記念して多摩丘陵の自然を生き、水と緑をテーマにつくられました。芝生広場や遊具のある多目的広場、多摩川をイメージした水路、自然林の中を通る散策道、富士山を眺望できる展望広場などがあります。

麻生区王禅寺 528-1 TEL 044-954-0505

区民の声  
小さな起伏と広さが運動するにはもってこい



登戸駅(小田急)

1日平均乗車人員は85,538人。駅構内は2019年から「ドラえもん」の装飾をしており、エレベーターや看板などにキャラクターがあしらわれています。

2022年4月で50周年!

# 多摩区

T A M A W A R D



区民が選ぶ好きな地元スポット BEST 3

- 1 生田緑地
- 2 藤子・F・不二雄ミュージアム
- 3 日本民家園

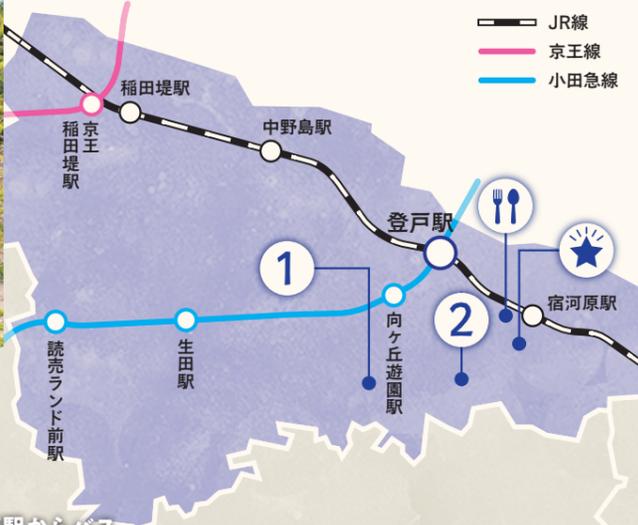


## 1 向ヶ丘遊園駅 生田緑地

四季折々の自然を満喫できる市内最大の緑の宝庫。2021年に80周年を迎え、市民の憩いの場として親しまれています。園内には多彩な市の文化施設が集結。春と秋には「生田緑地ばら苑」の一般公開を楽しむこともできます。

多摩区枳形 7-1-4 TEL 044-933-2300

区民の声  
緑の中にプラネタリウムや美術館があり気分に合わせて散策できます



## 2 登戸駅からバス 藤子・F・不二雄ミュージアム

多摩区に長年住み、「ドラえもん」など数々の名作を世に送り出したまんが家、藤子・F・不二雄氏。その「SF〜すこしふしぎ〜」な作品の世界を、多世代に伝える文化施設です。直筆のまんが原画も展示しています。日時指定の予約制。



多摩区長尾 2-8-1 TEL 0570-055-245

区民の声  
キャラクターをあしらった館内は歩くだけで楽しい!デートスポットにもおすすめ

## 2 新百合ヶ丘駅からバス ヨネッティー王禅寺

隣接する王禅寺処理センターの余熱を有効活用した市営のスポーツ施設。温水プール、老人休養施設(60歳以上)、トレーニングルームがあるほか、スイミング教室などのプログラムも充実しています。

麻生区王禅寺 1321 TEL 044-951-3636



区民の声  
料金も安く手軽に施設を使用できます



### 区民が選ぶ わがまち ソウルフード

新百合ヶ丘駅 ザッハトルテ

ウィーン菓子工房 リリエンベルグ  
麻生区上麻生 4-18-17 TEL 044-966-7511

本場・ウィーンで学んだパティシエの技術が光る看板商品。チョコの深い甘みとコクを、隠し味のあんずジャムが際立たせています。

### MY FAVORITE SPOT



### 新百合ヶ丘駅 山口台の街並み

地域と行政が一体となって計画的に整備された落ち着いた街並みに、緑の多い公園が点在しています。春には道路脇に植栽されたサツキが斉に咲き誇ります。

麻生区上麻生 4丁目

高層住宅の多い故郷とは違い、戸建てが並んでいて美しいまちだと感じます



コウ・センジュさん From中国 麻生区歴1年

### MY FAVORITE SPOT



### 宿河原駅 二ヶ領用水

江戸時代に完成した、多摩川で最古とされる全長32kmの農業用水。多摩区から幸区に広がる水域では、市民が親しめる空間として整備が進み、桜の花見スポットも点在しています(写真は多摩区宿河原3付近)。

TEL 044-200-2903 (川崎市建設緑政局河川課)

ペルーにも美しい川はありますが、宿河原周辺は歩きやすくもあって特に好きです



ウガモト・マルヤマ・ナタリア・アユミさん Fromペルー 多摩区歴2年

区民の声  
お土産にもってこいで、誰からでも喜ばれます



### 区民が選ぶ わがまち ソウルフード

宿河原駅 あのね

パティスリー・アノー 多摩区宿河原 2-4-16 TEL 03-5761-8626 (問い合わせは狛江店へ)

2008年にオープンしてから、地元で愛される洋菓子店。コルネ「あのね」はサクサクの生地に自家製カスタードがたっぷり詰まった人気商品です。

# 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

- ・市民の安全や生活基盤の確保に取り組み、粘り強いまちづくりを進めます。
- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けた取り組みを進めます。



※マイタイムライン…台風が来るまでに取るべき行動を時系列で考えておくツール

## ☑ 災害に強いまちづくり



水害図上訓練

市民の災害死ゼロを目指し、建築物等の耐震化や河川の改修、消防力の総合的な強化など災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の防災訓練の支援や市民の防災意識を高める取り組みを進めています。

## ☑ ユニバーサルデザインのまちづくりの推進



小田急小田原線登戸駅ホームドア

誰もが訪れやすく暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまち」にするため、鉄道駅におけるホームドア等の整備やユニバーサルデザインタクシーの普及促進に向けた取り組みを進めています。

## ☑ 地域包括ケアシステム構築の推進

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができるしくみづくりのため、新たに開学した市立看護大学で地域包括ケアシステムの担い手となる高度な看護人材を育成するなど、さまざまな取り組みを進めています。



看護実習の様子

## ☑ 信頼される市立病院の運営

市立病院は、市の基幹病院または地域の中核病院として、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応では、専用病床を整備し積極的な受け入れを行っています。



新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病棟で勤務する看護師

### 関連するSDGsのゴール



さいこう  
みんなでつくる最幸のまちかわさき

# 川崎市総合計画



私たちのまちのさまざまな所で、市の取り組みが行われています。

川崎市がどのようなまちを目指しているのか、そのために各取り組みをどのように進めていくのかは、「総合計画」に基づいています。私たちの生活にとっても身近で数ある取り組みの中から、その一部をご紹介します。



## SDGsと総合計画

持続可能な開発目標(SDGs(エスディー・ジーズ))は、平成27(2015)年に国連サミットで採択された世界共通の目標で、令和12(2030)年までの達成を目指す17のゴールが掲げられています。

川崎市は、SDGsの達成に向けた取り組みを積極的に進める「SDGs未来都市」として国から選定されており、川崎市総合計画に基づいて行われる各取り組みを通じて、SDGsのゴールの達成を目指しています。

次ページから、総合計画に基づいて川崎市がどのような取り組みを進めているのか、それはSDGsのどのゴールにつながっているのか、ご紹介しています。

さいこう  
「最幸」とは 川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※ここでは、政策ごとにSDGsの17の目標の中から、関わり深い目標を示しています



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

川崎市は「SDGs未来都市」です

## 市民生活を豊かにする環境づくり

- ・貴重なみどりを守り、誰もがやすらぎ、くつろげる環境をつくります。
- ・地球環境の保全に向けた取り組みを進めます。



### 地球温暖化対策の推進



カーボンゼロチャレンジ2050

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者の皆さまとともに、温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組みと気候変動の影響に対する取り組みを進めています。

### 魅力ある公園緑地等の整備

地域特性に合わせた、都市の価値を高める魅力ある公園づくりを進めるとともに、2024年度に開催する全国都市緑化フェアを契機とした、「緑の価値」の創出に向けた取り組みなどを進めていきます。



再編整備が予定されている等々力緑地

### ごみの減量化・資源化の推進



庁舎内に設置したウォーターサーバー

地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目指して、ごみの減量化・資源化に取り組んでいます。また、脱炭素化に向けて、プラスチック資源循環の取り組みを強化していきます。

### 農地の保全・活用と農とのふれあいの推進

市民が農にふれる場の提供促進を行うとともに、多様な主体との連携による地産地消の推進や多面的な農地の活用など、都市農業の振興を図っていきます。



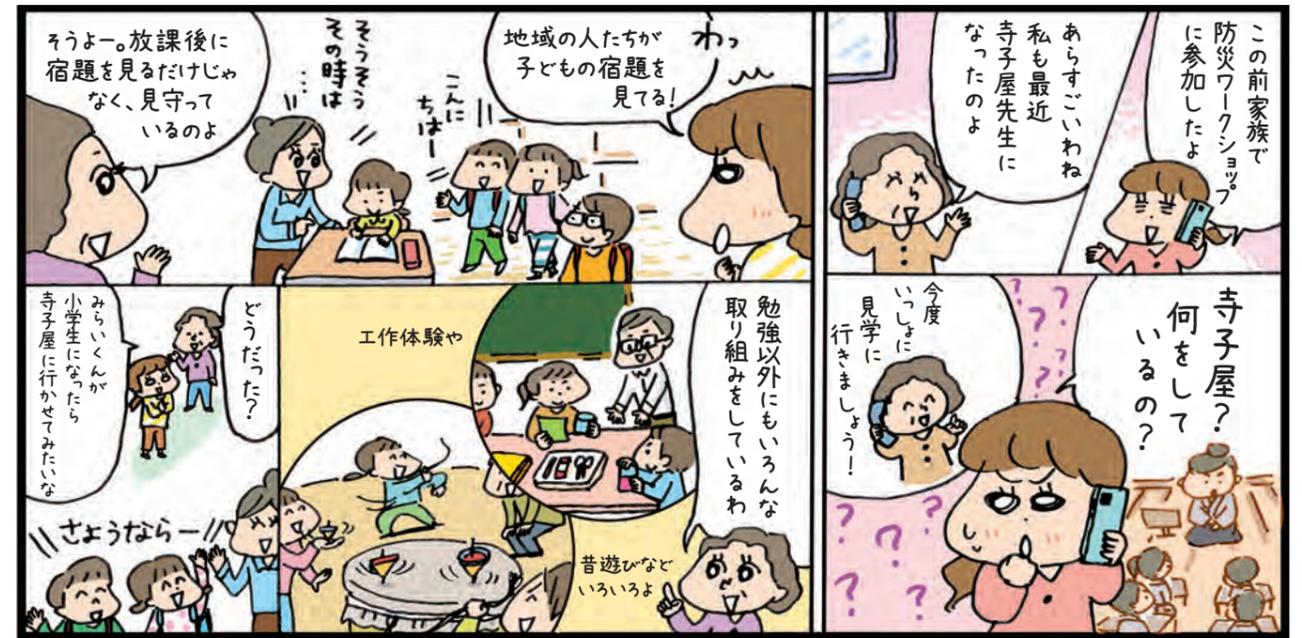
高津区久末の畑

関連するSDGsのゴール



## 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

- ・どこよりも子育てしやすいまちづくりを進めます。
- ・未来を担う子どもたちの、すこやかな成長を応援します。



### 質の高い保育・幼児教育の推進



保育園における子どもたちの様子

多様な手法による保育受け入れ確保や、保育・子育て総合支援センターを中心とした保育の質の維持・向上と地域における子育て支援の充実とともに、幼稚園における一時預かりの拡大等に取り組んでいます。

### 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現に向けて1人1台の端末を活用する「かわさきGIGAスクール構想」など、教育活動の充実に向けた取り組みを進めています。



かわさきGIGAスクール構想の取り組み

### 子ども・若者の挑戦を後押しする「グローバル人財育成事業」の推進 (Stanford e-Kawasaki)



[Stanford e-Kawasaki]を受講した生徒たち

国際的な幅広い視野を持って活躍することを目指す子どもや若者の挑戦を後押しする事業として、米国スタンフォード大学と協働で「Stanford e-Kawasaki」を開講しています。

### 「地域の寺子屋事業」の推進

地域ぐるみで子どもたちの学習支援や体験活動を行う地域の寺子屋を、全ての市立小・中学校へ設置することを目指して、取り組みを進めています。



寺子屋の学習支援

関連するSDGsのゴール



# 誰もが生きがいを持てる 市民自治の地域づくり

- ・市民のまちづくりへの積極的な参加を応援します。
- ・誰もが共に認め合い、支え合いながら個性と能力を発揮できる地域社会を目指します。



※ソーシャルデザインセンター(SDC)…地域で活動している人たちのつなぎの場のこと

市民創発による持続可能な暮らしやすい地域づくりの推進



「まちのひろば」創出職員プロジェクトの取り組み

「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、誰もが気軽集える地域の居場所「まちのひろば」や、地域の取り組みを支援する「ソーシャルデザインセンター」の創出・運営支援に取り組んでいます。

差別のない人権尊重のまちづくりの推進

さまざまな差別をなくし、ダイバーシティ(多様性)が尊重される地域社会の実現に向けた取り組みや、多様な文化的背景を持つ外国人市民が共に生きる社会の実現に向けた取り組みを推進しています。



外国人市民代表者会議

市民目線に立った行政サービスを総合的に提供する区役所



区役所での窓口対応

コロナ禍を踏まえたライフスタイルの多様化や非対面・非接触型のサービス提供など、社会環境の変化に応じながら、市民感覚を大切に現場起点の継続的なサービス向上に取り組んでいます。

かわさきパラムーブメントの推進

ダイバーシティ(多様性)とソーシャル・インクルージョン(社会的包摂※)を重点に置きながら、「かわさきパラムーブメント」の取り組みを推進しています。

※社会的包摂…今日的な「つながり」の再構築を図り、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うこと



© British Council  
ブリティッシュ・カウンシルと連携した事業(田島支援学校校校でのワークショップの様子)

関連するSDGsのゴール



# 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

- ・国際的な課題解決に貢献する、力強い産業があるまちづくりを進めます。
- ・市民が愛着と誇りを持ち、多くの人が集まり、にぎわうまちづくりを進めます。



臨海部の持続的発展と日本の成長を牽引する戦略拠点の形成



ハネダ グローバル ウイングス [HANEDA GLOBAL WINGS] との一体的な拠点形成に寄与する多摩川スカイブリッジ

国際競争力を有し、日本経済の成長を牽引する高度な産業が集積する川崎臨海部の持続的発展を推進するため、「臨海部ビジョン」に基づき企業と協働でさまざまなプロジェクトを推進しています。

若者文化の発信によるまちづくりの推進

ブレイキンやダブルダッチ、スケートボード、BMXなどの若者による文化を活用し、若い人が多いという本市の特徴を踏まえて、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるための環境づくりを進めています。



インターナショナル ストリート フェスティバル  
INTERNATIONAL STREET FESTIVAL  
ダブルダッチ  
KAWASAKI 2021 DOUBLE DUTCHの様子

中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成



工業者と地域住民の交流イベント「オープンファクトリー」

中小企業の販路拡大や事業承継・事業継続力強化に向けた支援など、中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成に向けた取り組みを推進しています。

魅力ある都市拠点の整備の推進

魅力と活力にあふれた都市拠点の形成に向け、川崎駅や小杉駅、新百合ヶ丘駅をはじめとした拠点駅周辺において、さまざまな機能の誘導や都市基盤の整備、にぎわいの創出に向けた取り組みを進めています。



小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業

関連するSDGsのゴール

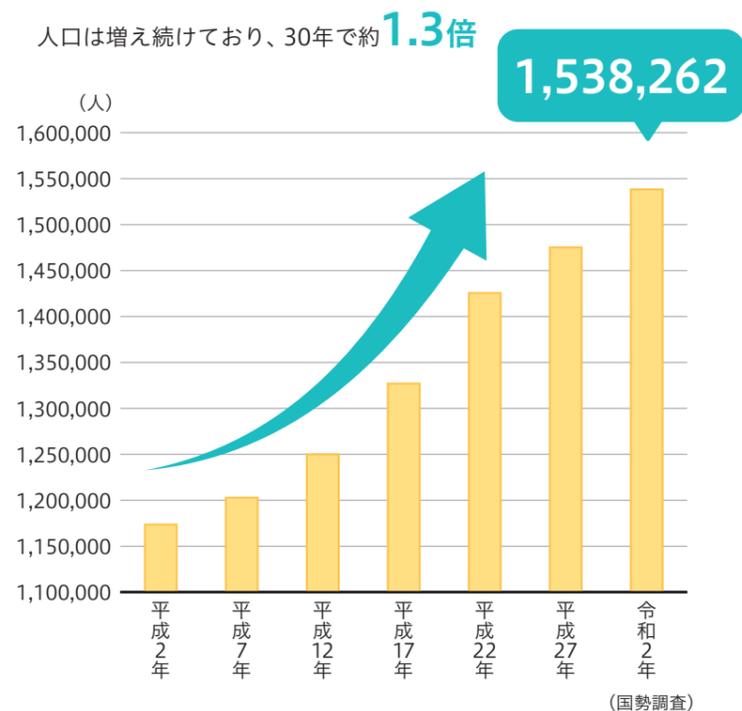




## 住む人が増え続けるまち

人口は、平成29年に150万人を突破し、令和元年には神戸市の人口を上回り、政令指定都市で6番目に人口が多いまちとなりました。

### 人口の推移



### 人口指数

(大正9年の人口=100とした指数)



大正9年の人口を100とした令和2年の人口指数は、大都市(※)の中で最も高いです。

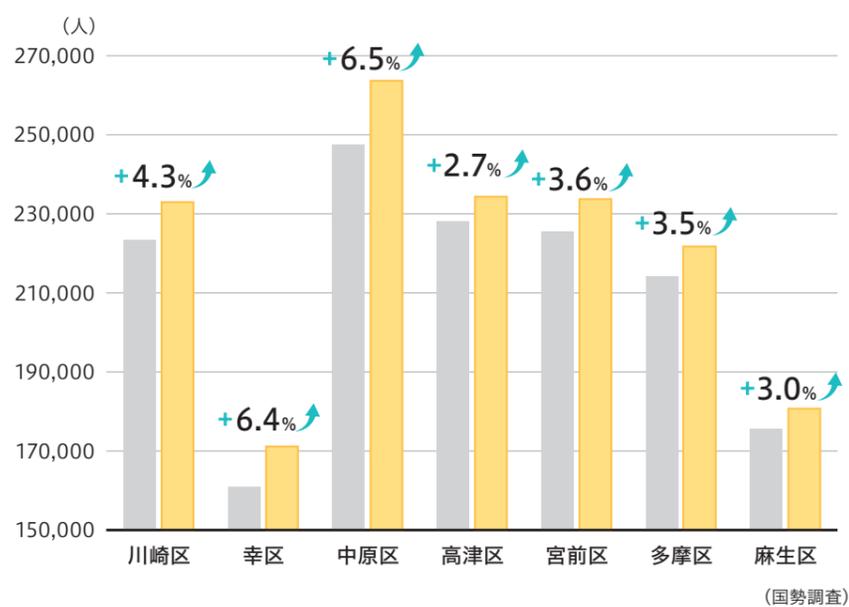
※大都市=政令指定都市+東京都区部

(国勢調査)

### 区別の人口

市内のすべての区で人口が増加しました。人口増加数が最も多い区は、**中原区の16,154人(6.5%)**増で、次いで幸区の10,229人(6.4%)増、川崎区の9,587人(4.3%)増と続きました。

■ 令和2年  
■ 平成27年



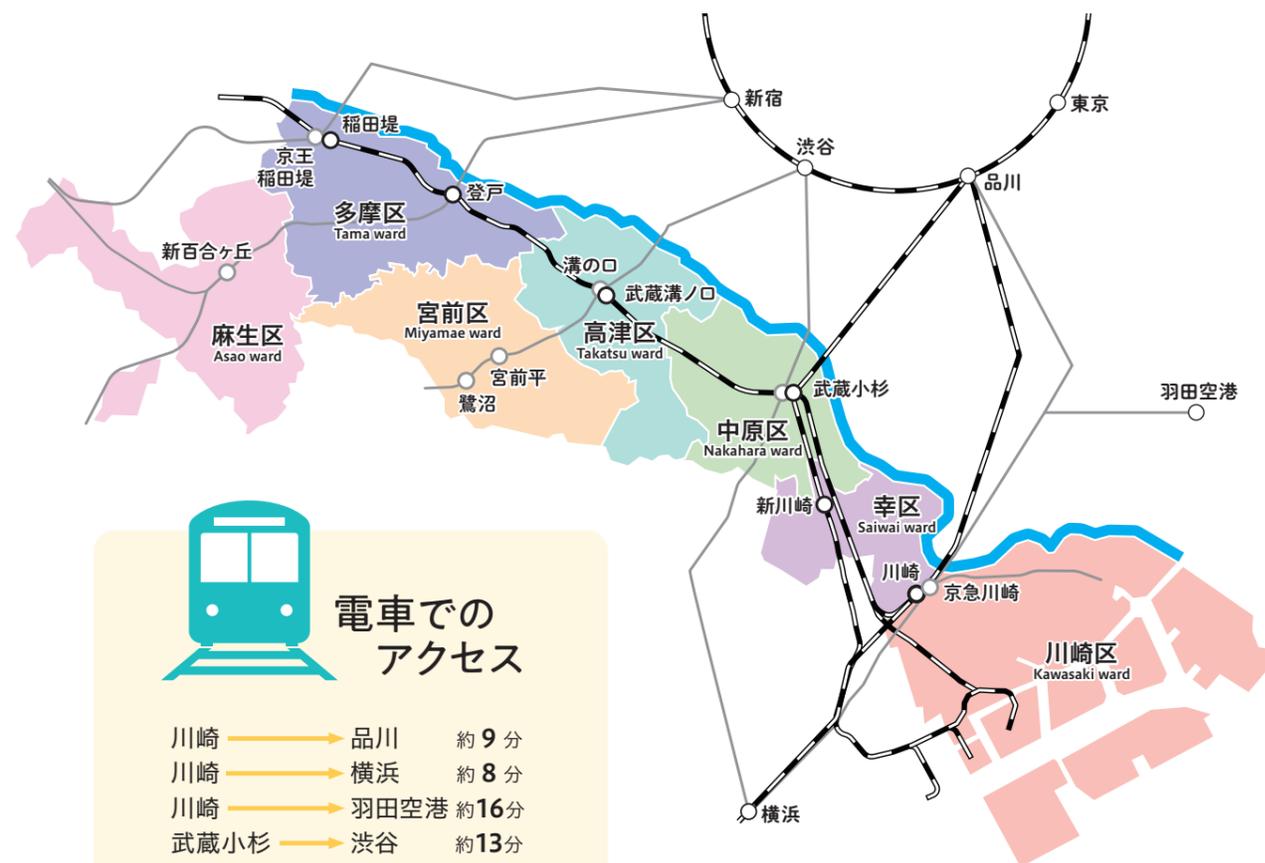
データで見る

## 川崎ってどんなまち？

川崎市は、神奈川県北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接。横浜市と東京都に挟まれた細長い地形で、面積は142.96km<sup>2</sup>。50年前に5区に、40年前に7区に分かれ、それぞれの区が個性的な特徴を持っています。川崎のまちの特徴を、データから読み解きます。

### アクセスが良いまち

市内を縦断する形でJR南武線が通り、南武線と交差する形で東京方面に向かう複数の私鉄路線が横断。利便性に優れています。



### 電車でのアクセス

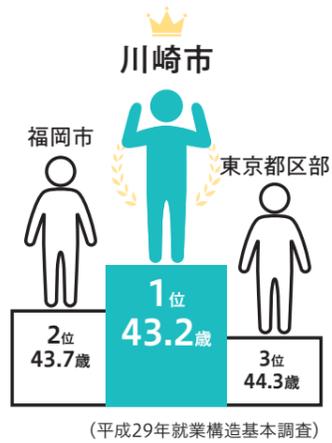
川崎	品川	約9分
川崎	横浜	約8分
川崎	羽田空港	約16分
武蔵小杉	渋谷	約13分
溝の口	渋谷	約14分
登戸	新宿	約16分

※利用する電車、時間により異なります。

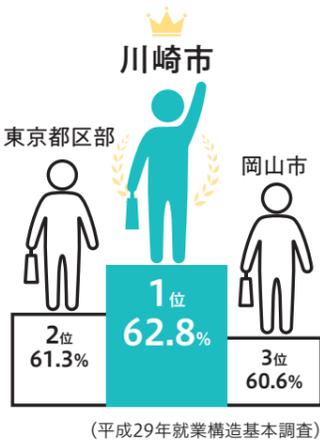
## 産業が盛んなまち

大都市の中で、働いている人の平均年齢が最も若く、正規で働く人の割合が多いです。製造業や学術研究も盛んです。

### 有業者の平均年齢



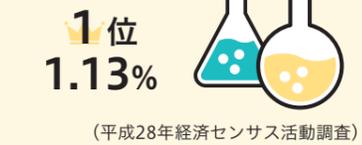
### 正規の従業者割合



### 製造品出荷額等

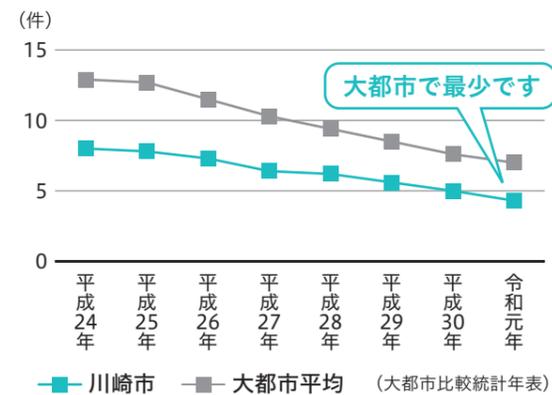


### 学術・開発研究機関の従業者割合

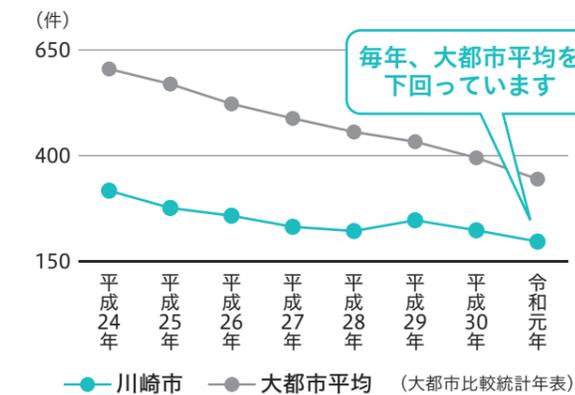


## 安全・安心なまち

### 人口千人あたり刑法犯認知件数

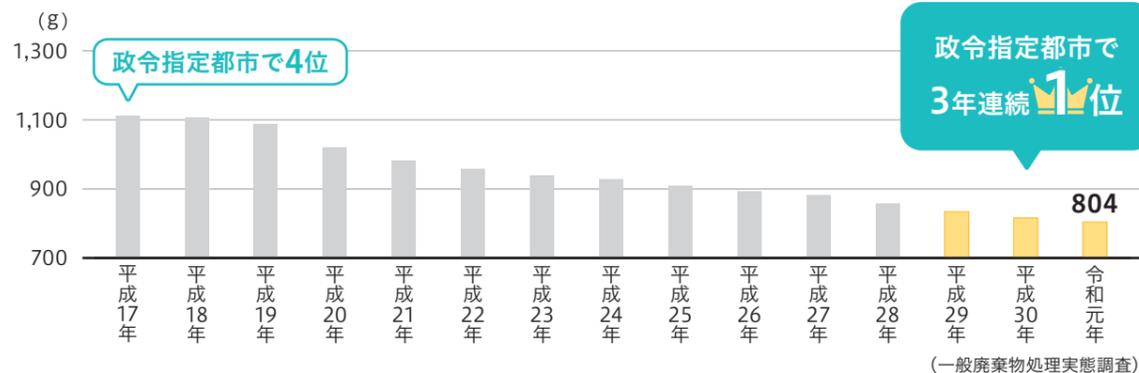


### 人口10万人あたり交通事故発生件数

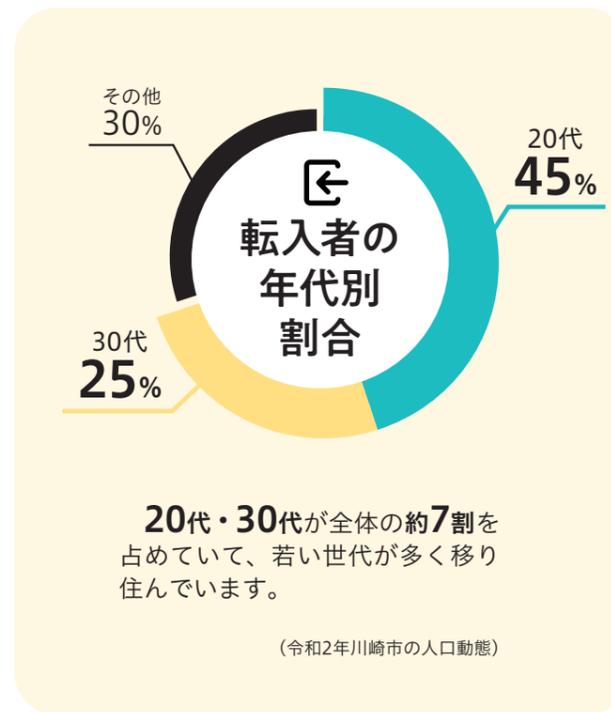


## 環境に優しいまち

### 1人1日当たりのごみ排出量推移



## 若い人が多いまち

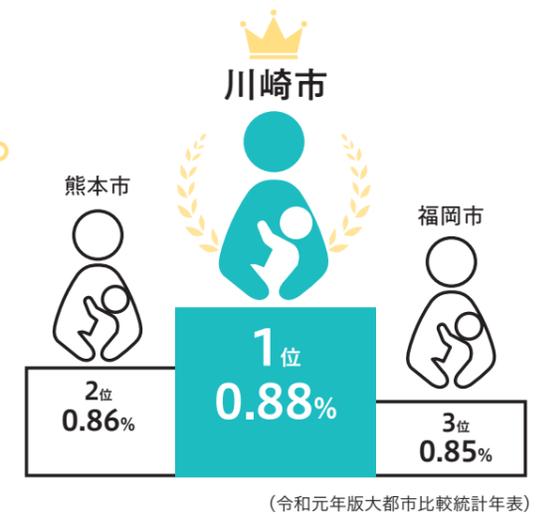


## 赤ちゃんがたくさん生まれているまち

### 出生率

大都市の中でも出生率が一番高く、令和元年は13,421人の赤ちゃんが誕生しました。

出生率 = 令和元年出生数 ÷ 人口(令和元年10月1日時点) × 100



### 令和4年度当初予算

一般会計	特別会計 (13会計)	企業会計 (5会計)	合計
8,785億1,274万円	4,560億8,506万円	2,144億7,301万円	1兆5,490億7,081万円

# 歴史で見る川崎市

人口約5万人の市として誕生した川崎市は、市制100周年を2年後に控え、今や人口150万人を超える大都市に発展しました。市南部は、今から約100年前にはすでに臨海部の工業地帯が生まれていました。一方、内陸部は、都市化されていきましたが、豊かな自然が今も残されています。市の誕生から現在に至るまでの歩みを振り返ります。

27	(2015)年
26	(2014)年
25	(2013)年
24	(2012)年
23	(2011)年
22	(2010)年
21	(2009)年
20	(2008)年
19	(2007)年
18	(2006)年
17	(2005)年
16	(2004)年
15	(2003)年
14	(2002)年
13	(2001)年
11	(1999)年

大正	13	(1924)年
昭和	2	(1927)年
	8	(1933)年
	12	(1937)年
	13	(1938)年
	14	(1939)年
	19	(1944)年
	20	(1945)年
	25	(1950)年
	26	(1951)年
	32	(1957)年
	42	(1967)年
	46	(1971)年
	47	(1972)年
	48	(1973)年
	52	(1977)年
	57	(1982)年
平成	59	(1984)年
	61	(1986)年
	2	(1990)年
	4	(1992)年
	7	(1995)年
	8	(1996)年
	9	(1997)年

- 7月 川崎町・御幸村・大師町合併、川崎市誕生(人口48,394人) **A**
- 4月 田島町、市に編入
- 8月 中原町、市に編入
- 4月 高津町・日吉村の一部、市に編入
- 6月 橋村、市に編入
- 10月 稲田町・生田村・宮前村・向丘村、市に編入
- 4月 柿生村・岡上村、市に編入
- 7月 全国初工業用水道完成
- 10月 市電開通(昭和44年3月廃止)
- 4月 川崎大空襲、市街地焼失 **B**
- 12月 市営バス営業開始
- 6月 市が川崎港の港湾管理者に
- 9月 市人口50万人突破
- 4月 日本家園開園
- 8月 青少年科学館開館
- 3月 川崎市公害防止条例施行
- 4月 政令指定都市になる
- (川崎・幸・中原・高津・多摩の5区誕生) **C**
- 5月 100万人目の市民誕生
- 7月 全国初の環境アセスメント条例施行
- 6月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 7月 高津・多摩区の分区により、宮前区・麻生区誕生(7区制)
- 10月 情報公開制度実施
- 10月 川崎地下街アゼリア誕生
- 11月 市民オンブズマン制度創設
- 4月 平和館開館 **D**
- 10月 廃棄物の鉄道輸送開始
- 12月 外国人市民代表者会議開始
- 3月 かわさき健康都市宣言
- 12月 東京湾アクアライン開通



川崎市指定都市記念式典  
(提供: 川崎市映像アーカイブ)



空襲による被害 (川崎区鈴木町方面を臨む)



旧川崎町役場前 (提供: 市民ミュージアム)

## ● 原始～古代

約3万数千年前の旧石器時代から人の営みが始まった川崎市域では、縄文時代前期には海面の上昇がピークを迎え、高津区溝口付近にまで海岸線が入り込み、周辺の丘陵上には多くの貝塚が残された。縄文時代中期以降、海岸線は徐々に後退し、丘陵上での定住的な生活が営まれるようになった。古代には、律令国家の地方支配を支える拠点として、現在の高津区から宮前区にかけて橋樹郡家とその西隣に古代寺院が営まれた(史跡橋樹官衙遺跡群)。

## ● 中世～近世

平安時代後期には、市域に川崎の地名の由来ともいわれる河崎荘や稲毛庄(荘)などの荘園が成立した。鎌倉～室町時代を経て、戦国時代に小田原北条氏の支配が市域に及ぶようになると、荘園は姿を消していった。小田原北条氏滅亡後、徳川家康が関東へ入国すると、安定した経営基盤を築くための地域開発として二ヶ領用水が開削され、江戸を起点とした東海道や中原街道などの幹線道路には宿場や継立村が置かれるなど、川崎市域は江戸を支える地域として重要視され、発展した。

## ● 近現代

明治時代には、鉄道や多摩川の水運に恵まれ、東京と横浜の中間に位置するという立地条件に注目した浅野総一郎によって臨海部の埋め立てが開始され、活発な企業誘致により多数の近代工場が進出し、急速に近代化が進んだ。このような中で、大正13(1924)年には川崎市が誕生。戦時中には、多数の軍需工場が存在したために、戦災も大きなものだったが、工業都市として復興を遂げ、昭和47(1972)年には政令指定都市となり、現在もさらに力強く発展を続けている。



史跡橋樹官衙遺跡群 (橋樹郡家跡) で検出された建物跡等



東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟 (公社) 川崎・砂子の里資料館所蔵

- 10月 岡本太郎美術館開館
- 4月 子どもの権利条例施行
- 4月 人権オンブズマン制度創設
- 4月 全市立小学校にわくわくプラザ開設
- 7月 ミューザ川崎シンフォニーホール開館市制80周年 **E**
- 2月 市立多摩病院開院
- 10月 アートセンター開館
- 4月 人工海浜がある東扇島東公園が開園
- 4月 川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリッカしんゆり) を開催
- 3月 J R横須賀線武蔵小杉駅開業
- 4月 日本映画大学開学
- 8月 かわさきエコ暮らし未来館開館
- 8月 浮島太陽光発電所運転開始
- 9月 藤子・F・不二雄ミュージアム開館 **F**
- 12月 扇島太陽光発電所運転開始
- 4月 政令指定都市移行40周年
- 4月 青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館) リニューアルオープン
- 3月 川崎生命科学・環境研究センター(LISE)開設
- 3月 殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」まちびらき
- 10月 東海道かわさき宿交流館開館
- 1月 第1回区民車座集會開催
- 4月 市立川崎高等学校を市内初の公立中高一貫教育校へ再編、附属中学校開校
- 7月 市制90周年記念式典開催
- 3月 橋樹官衙遺跡群が川崎市初の国史跡に指定
- 3月 川崎富士見球技場(富士通スタジアム川崎) リニューアル
- 3月 等々力陸上競技場メインスタンド供用開始



平和館



ミュゼ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年)  
(提供: 川崎市映像アーカイブ)



藤子・F・不二雄ミュージアム



多摩川スカイブリッジ

6(2024)年

7月 「市制100周年を迎えます」 「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとしていきます

4	(2022)年
3	(2021)年
2	(2020)年
31	(2019)年
30	(2018)年
29	(2017)年
28	(2016)年
2	(2019)年
31	(2019)年
30	(2018)年
29	(2017)年
28	(2016)年
3	J R南武線新駅「小田栄」駅が開業
3	川崎市総合計画「川崎市行政改革プログラム」を策定
7	市のブランドメッセージを策定
4	市人口150万人突破
10	カルッツかわさき(スポーツ・文化総合センター)開館
10	全市立中学校で完全給食実施
12	川崎フロンタールのJリーグ初優勝を記念し優勝パレードを開催
2	J R川崎駅北口通路・北改札供用開始
4	市コンベンションホールが武蔵小杉に完成
2	市動物愛護センターが中原区上平間に移転
5	市人口が政令指定都市第6位に
12	市民100万本植樹運動達成
2	2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言
7	川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例全面施行
10	等々力球場リニューアルオープン
11	かわさきカーボンプレッシング2050を策定
6	国立大学法人東京大学、日本アイ・ピー・エム株式会社、川崎市による量子コンピューティング技術の普及と発展に関する基本協定書締結
3	多摩川スカイブリッジ開通 <b>G</b>

## 川崎市議会

市民の代表者である市議会議員の活動により運営される市議会



市議会は、市民が選んだ市議会議員が、市のルールである条例やお金の使い道である予算、市議会に出される意見・要望などについて話し合う、市の意思決定機関です。年4回の定例会や必要に応じて開かれる臨時会があり、より詳細な話し合いをするために、5つの常任委員会が設けられています。また、市民に開かれた議会を目指すため、広報紙「議会かわさき」の発行や本会議と委員会のインターネット中継なども行っています。

## かわさき健康都市宣言

心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることは、私たちみんなの願いです。川崎市に住み、働き、学ぶ一人ひとりが手を携えて、かけがえのない健康をはぐんでいくために、次のことを行います。

- 私たちは、「市民健康デー」を大きく実らせ、進んで健康づくりに励みます。
- 私たちは、スポーツや運動に親しみ、食生活と休養に気を配り、健康的なライフスタイルを身につけます。
- 私たちは、健康を支える温かな家庭、だれもが安全で安心して暮らせる地域、思いやりあふれる社会をめざします。
- 私たちは、多摩川や海辺の潤いと多摩丘陵の緑などの恵みを健康に生かし、安らぎのある環境づくりに努めます。細長く変化に富んで広がる川崎市は、私たちみんなのふるさとです。地域の隅々から元気な声がかこたまする、明日に伸びゆく人間都市を創造していくために、ここに「かわさき健康都市」を宣言します。

平成9年3月25日 川崎市

## 市民オンブズマン制度

市民オンブズマンは、市民からの市政に関する苦情申し立ての処理や市政の監視などを、市民主権の理念に立って行い、必要に応じて、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めています。

## 人権オンブズパーソン制度

人権オンブズパーソンは、いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV(ドメスティック・バイオレンス)、セクハラなど男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申し立てを受け、関係機関などとの連携を図りながら問題解決に向けて活動を行っています。

## 核兵器廃絶平和都市宣言

真の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の願いである。

しかるに、核軍備の拡張は依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを声大にして全世界の人々に訴え、再びこの地球上に広島、長崎の、あの惨禍を繰り返させてはならない。

このことは、人類が遵守しなければならない普遍的な理念であり、我々が子孫に残す唯一の遺産である。

川崎市は、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、国際社会の連帯と民主主義の原点に立って、かくへいはいぜつせろんかんきかくへいはいぜつへい核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和57年6月8日 川崎市

## 世界に開かれたまち川崎

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>友好都市</p> <p>① シェフィールド市 (イギリス)</p> <p>■平成2年7月30日提携</p> <p>■人口約58万人</p> | <p>友好都市</p> <p>② リューベック市 (ドイツ)</p> <p>■平成4年5月12日提携</p> <p>■人口約22万人</p>      | <p>友好都市</p> <p>③ ザルツブルク市 (オーストリア)</p> <p>■平成4年4月17日提携</p> <p>■人口約16万人</p> |
| <p>姉妹都市</p> <p>④ リエカ市 (クロアチア)</p> <p>■昭和52年6月23日提携</p> <p>■人口約13万人</p>   | <p>友好港</p> <p>⑤ ダナン港 (ベトナム)</p> <p>■平成6年1月24日提携</p>                         | <p>姉妹都市</p> <p>⑥ 瀋陽(しんよう)市 (中国)</p> <p>■昭和56年8月18日提携</p> <p>■人口約903万人</p> |
| <p>友好都市</p> <p>⑦ 富川(ぶちやん)市 (韓国)</p> <p>■平成8年10月21日提携</p> <p>■人口約81万人</p> | <p>姉妹都市</p> <p>⑧ ウーロンゴン市 (オーストラリア)</p> <p>■昭和63年5月18日提携</p> <p>■人口約22万人</p> | <p>姉妹都市</p> <p>⑨ ポルチモア市 (アメリカ)</p> <p>■昭和54年6月14日提携</p> <p>■人口約59万人</p>   |
| <p>国内友好自治体</p> <p>⑩ 中標津町 (北海道)</p> <p>■平成4年7月9日提携</p> <p>■人口約2万3千人</p>   | <p>国内友好自治体</p> <p>⑪ 富士見町 (長野県)</p> <p>■平成5年4月22日提携</p> <p>■人口約1万4千人</p>     | <p>国内友好自治体</p> <p>⑫ 那覇市 (沖縄県)</p> <p>■平成8年5月20日提携</p> <p>■人口約32万人</p>     |



## 名誉市民

市に関係が深く、市の発展などに卓越した功績を残し、市民に敬愛される方々です。



藤嶋 昭さん  
科学者  
(平成30年選定)  
「光触媒」を発見。  
文化勲章受章

- (故)金刺 不二太郎さん 元市長(昭和46年選定)
- (故)伊藤 三郎さん 元市長(平成2年選定)
- (故)圓鏝 勝二さん 彫刻家(平成3年選定)
- (故)岡本 太郎さん 芸術家(平成4年選定)

## 市民文化大使

文化芸術・スポーツ分野で活躍されている方に市民文化大使をお願いし、市のイメージアップに貢献していただいています。



伊藤 多喜雄さん  
民謡歌手



鶴澤 久さん  
能楽師



大谷 康子さん  
バイオリニスト



大矢 紀さん  
日本画家



小原 孝さん  
ピアニスト



国府 弘子さん  
ピアニスト



佐藤 征一郎さん  
声楽家



SHISHAMO  
ミュージシャン



成田 真由美さん  
パラリンピックメダリスト



パンチ佐藤さん  
スポーツタレント



松本 利夫さん(EXILE)  
俳優

## かわさきスポーツパートナー

川崎をホームタウンとするトップチームが「かわさきスポーツパートナー」として、ホームゲームへの市民招待や市内小中学生を対象としたスポーツ教室などを通じて、スポーツを楽しめるまちづくりや、市のイメージアップに貢献していただいています。



NECレッドロケッツ  
女子バレーボール



川崎ブレイブサンダース  
男子バスケットボール



東芝ブレイブアレス  
野球



富士通レッドウェーブ  
女子バスケットボール



川崎フロンターレ  
サッカー



富士通フロンティアーズ  
アメリカンフットボール

## フランチャイズ・オーケストラ



東京交響楽団

ミュゼ川崎シンフォニーホールを活動拠点に、数多くの演奏会を行う他、市内での巡回公演など、さまざまな演奏活動を行っています。

## 名誉国際親善大使

ご自身の活動を通して、本市の国際的なイメージの向上に貢献していただいています。



中澤 弘さん  
医師



ライナー・キュッヒルさん  
バイオリニスト

市制10周年記念  
川崎市歌 (昭和9年制作)

作詞/小林俊三 作曲/高階哲夫

一、 見よ 東に 寄する 暁潮 富士の姿を 真澄に仰ぎ かがやく雲を いろどる 多摩川 希望満つる 朝風 今ぞ明けゆく わが川崎市	二、 東海道の おもかげいずこ 左右に展ぶる 大都の翼 高らかに打つ 文化の脈はく 科学に樹つ 栄光 勢い努めて 若き生命を	三、 巨船つなぐ ふ頭の影は 太平洋に 続く波の穂 汗と力に 世界の資源を 集め築く 基礎 今ぞ輝く わが川崎市
--	---	---



YouTubeの川崎市チャンネル  
で視聴できます

市制60周年記念 川崎市民の歌  
好きです かわさき 愛の街 (昭和59年制作)

作詞/肥後義子 補作/石本美由起 作曲/山本直純

一、 多摩川の 明ける空から きこえる やさしい鳥の歌 ほほえみは 光のシャワー さわやかに こころ洗うよ 新しい 朝は生まれて 人びとの 軽い足どり 好きです 陽差しの 似合う街 好きです かわさき 愛の街	二、 よろこびを 語る広場に きこえる やさしい花の歌 そよかぜは 緑のリボン あざやかに こころ飾るよ 新しい 愛は生まれて わかち合う 胸のときめき 好きです みんなで 生きる街 好きです かわさき 愛の街	三、 街並の つづく窓から きこえる やさしい愛の歌 まごころは 希望のリズム いきいきと こころ弾むよ 新しい 時代は生まれて つなぐ手に 明日を夢みる 好きです 幸せ 灯す街 好きです かわさき 愛の街
--	---	---

市章

(大正14年制定)



川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています。

市民の花・市民の木

(昭和49年制定)



市民の花 つばき



市民の木 つばき

市制50周年を記念して市民にゆかりの深いもの、親しみのあるもの、都市緑化にふさわしいものなどを考えて、市民投票で選ばれました。